令和 元 年度

三沢市教育委員会
会　議　録

１２月 定 例 会

三沢市教育委員会　令和元年度　１２月定例会

１　日　　時　　令和元年１２月２６日（木）　　９時５５分　開会
　　１１時１０分　閉会

２　場　　所　　三沢市役所　別館４階　第１研修室

３　出席委員

教　育　長	冨　田　　敦
委　　員	立　花　　肇
委　　員	相　沢　靖　恵
委　　員	黒　沢　のぞみ
委　　員	本　江　　宏

４　出席職員

教育部長	山　﨑　　徹
教育総務課　課長	髙　橋　徳　孝
教育総務課　副参事兼課長補佐	種　市　明　人
学務課　　課長	附　田　経　行
学務課　副参事兼課長補佐兼学務係長	川　井　克　子
学校教育課　課長	米内山　誠　毅
学校教育課　課長補佐	江　渡　　勇
生涯学習課　参事兼課長	小　泉　厚　子
学校給食センター　所長	小　島　一　人
学校給食センター　所長補佐兼施設係長	山　本　　智
教育総務課　副参事兼課長補佐（書記）	今　村　多美代
教育総務課　教育総務係長	鳴　海　　拓

５　傍聴者　　２名

６　議事日程　別紙のとおり

【 別 紙 】

三沢市教育委員会　令和元年度　１２月定例会 議事日程

第１　開会

第２　会議録署名委員の指名

第３　会期の決定

第４　前回会議録の承認

第５　報告案件
報告第１１号　令和元年三沢市議会第３回定例会について
報告第１２号　三沢市教育振興基本計画（Ｈ２７－Ｒ０１）の進捗状況について

第６　その他

第７　閉会

開会　　９時５５分

○日程第１　開会

■冨田教育長

出席委員は定足数に達しておりますので、委員会は成立いたします。

ただ今から、令和元年度１２月定例教育委員会を開会いたします。

それでは、お手元に配付してある議事日程により、会議を進めます。

○日程第２　会議録署名委員の指名

■冨田教育長

会議録署名委員の指名を行います。

会議録署名委員は、立花委員と相沢委員を指名いたします。

よろしくお願いいたします。

○日程第３　会期の決定

■冨田教育長

会期についてお諮りいたします。

会期は、本日２６日の１日でよろしいでしょうか。

（「異議なし。」と声あり）

それでは、本日の１日といたします。

○日程第４　前回会議録の承認

■冨田教育長

前回会議録の承認についてお諮りいたします。前回の会議録は、お手元に配付しておりますが、会議録のとおり、承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし。」と声あり）

ご異議ございませんので、承認といたします。

○日程第５　報告案件

■冨田教育長

続いて、報告案件に移ります。

報告第１１号　令和元年三沢市議会第３回定例会についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

■教育部長

報告第１１号　令和元年三沢市議会第３回定例会では、教育関係の一般質問が１件ございましたのでご報告いたします。「市立図書館への書籍消毒機の設置について」は、春日議員から、平成２９年度に次いで２回目の質問となりました。

委員の皆様は実物をご覧になったことがあるでしょうか。この消毒機は、そこそこ大きなボックスに本を６冊位ぶら下げる形で収納し、紫外線を当て殺菌消毒をし、その後下から風を当ててホコリ等を吹き飛ばすというものです。

それでは、答弁内容を読み上げます。

市立図書館では、サービス提供の充実と拡大を目標に、より多くの市民に利用していただけるよう、乳幼児への読み聞かせ、調べる学習講座、リサイクルブックフェアなどを実施しているほか、今年度は、読書通帳を作成・配布し、障がい者への郵送貸し出しサービスの準備も進めているところであります。

さて、ご質問の書籍消毒機の設置につきましては、県内の動向を見据えながら検討しております。

現在、設置している県内の図書館では、書籍を借用する利用者自身が殺菌消毒しており、衛生面だけではなく、図書館資料を大切に使う意

識向上にもつながっていることから、重要な図書館サービスの一つとして認識しているところであります。

このようなことから、市立図書館におきましても、利用者に安心して本を読んでいただける新しいサービスとして、書籍消毒機設置に向け、さらに検討して参ります。

と答弁しております。書籍消毒機につきましては来年度の当初予算に要求しておりますので、設置できた暁には、読書機会の拡充に繋がるように市民の方へ周知して参りたいと考えております。

以上でございます。

■冨田教育長

ありがとうございました。

ただ今の報告に対し、委員からご質問等ございますか。

（「なし。」との声あり）

ないようですので、報告第１１号　令和元年三沢市議会第３回定例会についての報告は、終わりといたします。

次に、報告第１２号　三沢市教育振興基本計画（平成２７年度から令和元年度）の進捗状況についてを議題といたします。

事務局より説明をお願いします。

■教育部長

報告第１２号についてです。

三沢市教育振興基本計画は、スローガン「夢の実現　社会を生き抜く力の養成」の基、平成２７年度から５か年計画で、各教育施策を推進して参りましたが、最終年度を迎えたことから次期計画の見直しを踏まえ、各事業の成果を検証したところでございます。検証結果といたしましては、計画に掲げた５０事業のうち、継続が４５件、見直しが２件、廃止が３件となっております。

主な検証結果を各担当課から順に説明させていただきます。

なお、最後のページの市民スポーツ課所管の事業については、資料をご覧いただき、質問があった場合は、後程回答させていただきたいと思いますので、ご了承いただきたいと思います。

■教育総務課長

教育総務課所管の施策の進捗状況についてご説明いたします。

それでは、お手元の資料１ページをお開きください。基本計画の体系図となっております。

成果の目標、基本施策の項目の1　夢の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育「１　教育環境の充実・向上」の２ページから３ページ（２）施設・設備等整備事業について説明します。

この事業は、子どもたちに安全・安心な教育環境の充実・向上を図るため、経年劣化した学校施設や設備の国庫補助などによる大規模改修を行う事業です。

主な実績・成果ですが、はじめに小中学校のトイレ改修事業では、老朽化したトイレのリフォームと洋式化率の向上を図り、清潔で明るく、使いやすいトイレ整備を進めた結果、今年度までに小中学校あわせて９校の改修を終了しました。なお、三沢小学校、おおぞら小学校、第三中学校の３校は比較的新しい学校のため、また洋式化方針を取り入れて整備してあることから、今回の改修計画からは除外しております。今後は経年劣化に伴う状況を見ながら、次期改修計画を検討して参りたいと思います。

次に小中学校の運動場天井等落下防止対策事業は、地震発生時に落下の危険性のある吊り天井などの改修を行い、更なる安全対策を進めた結果、今年度までに小中学校あわせて９校の改修を終了し、残る３校の三沢小学校、三川目小学校、おおぞら小学校は、令和２年度に改修を予定しており、令和２年度をもって全校運動

場の天井等落下防止対策は完了見込みとなっています。

次に小中学校暖房設備改修事業では、老朽化したボイラーなどの暖房設備の改修を行い、安定して暖かく快適な学習環境が提供できるよう整備を進めた結果、今年度までに小中学校あわせて８校の改修を終了いたします。なお、令和２年度は古間木小学校の改修工事を行う予定であり、比較的新しい三沢小学校、おおぞら小学校、第三中学校は今回の改修計画からは除外しております。今後は経年劣化に伴う状況を見ながら、次期改修計画を検討して参りたいと思います。

以上のことから、施設・設備等整備事業は当初の目標を達成できたものと思います。
今後におきましても、当該事業を継続し、引き続き教育環境の充実・向上に努めて参りたいと考えます。

次に４ページ（３）学校図書整備事業について説明します。

この事業は、子ども達の創造力を培い、学習に対する興味・関心を呼び起こし、豊かな心を育むことや、情報の収集、選択・活用能力を育成し、自発的、主体的な学習活動を支援するために、図書の充実を図る事業です。

主な実績・成果ですが、国が定める学校図書標準の充足を目指し取り組んだ結果、今年度末見込みで、小学校が平均で１００．６％、また中学校が平均で１１６．４％と、それぞれ国が定める学校図書標準をクリアするまでに至っております。

また図書の充実にあわせ、子どもたちが読みたい本、必要とする本の検索や貸出返却などの蔵書管理・業務運用の効率化を図るため、全校にＩＣＴによる図書管理システムを導入しました。

以上のことから、学校図書整備事業は当初の目標を達成できたと思います。しかしながら、学校毎にみれば充足率が未だ１００％に達していないところがあること、また蔵書の内容が子どもたちのニーズに十分対応できていないなどの課題があることなどから、今後におきましても、当該事業を継続し、引き続き学校図書の充実に努めて参りたいと考えます。

次に（４）教育用パソコン関連整備事業について説明します。

この事業は、平成２０年１月公示の学習指導要領に基づき、小中学校を通じたコンピュータや情報通信ネットワークの活用、情報モラルに関する指導の充実を図るため、コンピュータ室を基本とした教育用パソコンの更新整備を行う事業です。

主な実績・成果ですが、小中学校１２校のコンピュータ室に１クラス分として、１人１台のパソコンと学習支援ソフト、及び周辺機器の整備を行いました。

また平成２９年３月公示の新学習指導要領で、プログラミング教育の必須化や充実が明記されるとともに、情報活用能力が言語能力と同時に学習の基盤となる資質・能力と位置づけられたこと。加えて２０１８年度以降の学校におけるＩＣＴ環境の整備方針、教育のＩＣＴ化に向けた整備５か年計画などを国が策定し、ＩＣＴ環境整備を加速的に進めることが示されたことなどから、今年度、ＩＣＴ環境整備モデル校事業を実施し、上久保小学校と第一中学校にタブレット各１６台ほか、無線ＬＡＮなどの整備を行いました。

以上のことから、教育用パソコン関連事業は当初の目標を達成できたものと思いますが、現在、国の目指すＩＣＴを活用した教育環境整備は十分とは言えないことから、今後におきましても、当該事業を継続し、引き続きＩＣＴ教育環境の充実に努めて参りたいと考えます。

次に１５ページをお開きください。

「８　安全・安心で快適な学習環境の確保」

（１）学校施設改修・修繕について説明します。

この事業は、安全・安心で快適な学習環境の

確保を図るため、校舎、設備等の修理や交換などを行う事業です。

主な実績・成果ですが、工事内容が多岐に渡ることから、具体的な説明は省略しますが、主に市単独費による小規模な改修工事などが主なものです。なお年度別の事業費ベースの事業実績はお手元の資料のとおりです。

以上のことから、学校施設改修・修繕は当初の目標を達成したと思います。しかしながら、経年劣化による学校施設及び設備の老朽化や故障は後を絶たず、未だ修理等ができないでいる案件もあることから、今後におきましても当該事業を継続し、引き続き、安全安心で快適な教育環境の確保に努めて参りたいと考えております。

次に１７ページをお開きください。

「９　教育費の負担軽減などによる学習機会の確保」（３）奨学資金制度について説明します。

この事業は、本市出身の優秀な学生などで、経済的理由により修学が困難と認められる方に対し、奨学資金を貸付け、人材の育成を図っているものです。

主な実績・成果ですが、奨学資金の貸付者は全体とすると減少傾向にありますが、毎年度、経済的理由等による貸付応募があることから、一定の事業効果があるものと認識しています。

以上のことから、奨学資金制度は当初の目標を達成できたものと考えます。しかしながら、高等学校授業料無償化や、国、大学、企業など、他の奨学資金制度が充実してきたことなどから、当市の奨学資金の利用者減少の一因と推測されることから、より良い奨学資金制度の在り方について、検討が必要と考えます。

今後におきましても、当該事業を継続し、引き続き、教育費の負担軽減などによる学習機会の確保に努めて参りたいと考えます。

以上で教育総務課所管の事業についての説明を終わります。

■学務課長

続きまして、学務課の所管事業について説明いたします。

５ページをお開きください。「１　教育環境の充実・向上」（５）学習支援員配置事業ですが、学習活動の補助等を行う支援員を配置する事業です。配置数は、平成２７年度から２９年度までは５人、平成３０年度と令和元年度は６人を配置いたしました。

成果としましては、市内小中学校の要望や実態を踏まえながら適正に学習支援員を配置して、児童生徒の学習活動の補助等の支援を行うことができたと考えております。

続きまして９ページ「３　特別支援教育の充実」（１）の特別支援教育支援員配置事業ですが、こちらは特別に支援が必要な児童生徒の支援を行うため支援員を配置する事業です。配置数は、平成２７年度から３５人、４０人、４３人、４９人、４８人と配置してきました。実態を踏まえながら配置してきており、全体的には少しずつ増えてきております。

成果としましては、市内小中学校の実態を踏まえながら、適正に特別支援教育支援員を配置して通常学級に在籍するＬＤやＡＤＨＤなど及び介助を必要とする児童生徒の学校生活を支援することができたと考えております。ただ、学習支援員も特別支援教育支援員についても、様々改善することもございますので、それを踏まえながら今後はより良い支援体制の構築に向け進めていきたいと思います。

続きまして１６ページ「８　安全・安心で快適な学習環境の確保」（２）小中学校耳鼻科・歯科検診用器具レンタル事業ですが、こちらは市内小中学校での健康診断及び就学時健康診断で、歯科や耳鼻科検診で使用する器材を借りて使用するという事業で、平成２８年度から実施しております。

成果としましては、小中学校の健康診断及び就学時健康診断で器材を借り受け使用するこ

とで、幼児児童生徒への感染予防を図り、より安全な健康診断を実施することができたと考えております。

続きまして、「９　教育費負担軽減などによる学習機会の確保」（１）幼稚園就園援助補助金ですが、こちらは三沢市に住所を有し、幼稚園に在園する３歳児から５歳児の保護者に対し、市民税の所得割額に応じて幼稚園保育料等を補助するという事業で、平成２７年度は、３００人でしたが、徐々に減少してきております。補助金額は、資料のとおりです。

成果といたしましては、補助することにより、保護者の負担を軽減し、就園の促進と幼稚園教育の充実を図ったと考えております。なお、当事業に関しては、１０月から子育て支援課へ事業移管となっております

続きまして、次のページ（２）要・準要保護学用品等援助費ですが、こちらは、経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒の保護者に対し、就学援助費を交付するという事業で、対象者数は、平成２７年度は小学校３３７人、中学校２１０人となっており、平成３０年度は、小学校３０４人、中学校２１７人となっており、金額は、資料のとおりです。

成果といたしましては、就学援助費を交付することにより、負担軽減ができ、義務教育の円滑な実施が図られたと考えております。

学務課は、以上でございます。

■学校教育課長

続きまして、学校教育課所管分の主なものについて説明させていただきます。

６ページをお開きください。「２　教職員の資質・能力の向上」についてですが、６ページの（１）から８ページの（６）まで、学校教育課で開催している研修会や学校訪問等に関することで関連がありますので、一括して説明させていただきます。

子供たちの確かな学力の向上を図るためには、教員の指導力・資質の向上が欠かせません。このため、学校教育課では、指導主事が学校に出向いて行う学校訪問と、各校から関係教員に出てきていただいて行う各種研修会を実施しております。

（１）の学校訪問では、学校教育課の指導主事等が全員で年一回計画的に行う計画訪問と、学校で各教科等の授業研究会を行う際に学校の要請を受けて、当該教科等の指導主事を派遣する要請訪問があります。

（２）から（６）の研修会につきましては、各教科や、研修主任や教務主任など各職務に応じた専門的内容について研修を行っています。

参加教員数の変化についてですが、教員の多忙化が問題とされている折、参加者の数を増やすことだけにこだわるのは難しい面がありますが、可能なものはできるだけ長期休業中に実施するなど、教員の負担増に考慮しながらも、教員の指導力・資質の向上を図っており、先日、県の学力学習状況調査が、テレビ・新聞等でも報道されましたが、三沢市は県内の市・郡別１６地区ごとの集計で小学校は県内で２番目、中学校は同率ながら県内で最も高い成績を収めていることからも、良い方向に向かっているものと捉えておりました。

９ページをお開きください。

（２）特別支援委員会事業につきましては、市内の小学校に就学予定の児童や小中学校に在学する児童生徒のうち障害を有する子供に対し、医学検査等を実施しております。

この審査のため教育支援委員会には、医師、臨床心理士、児童相談所、学校関係者等、専門的知識を有する方からの御協力を得て実施しております。その表にはありませんが、取り扱い総数は、平成２６年度は４２名だった状態から、現在８３名と２倍近くなっており、今年度から医師を１名増員して対応しております。保護者の承諾率も平成２４年度の３３％から令和元年度は８８％程度に増加しており、丁寧な

審査と、保護者に対する丁寧な説明の結果と捉えております。

続いて、１２ページの3　英語によるコミュニケーション教育の充実についてです。

ＡＬＴやＡＥＴの派遣、イングリッシュキャンプや１３ページの（１）国際交流サロン、（２）国際化に対応する教育推進事業等が主な内容となります。

１２ページに戻りまして、（３）三沢市中学生イングリッシュキャンプにつきましては、他町村のＡＬＴ等にも協力をいただき、グループ活動や基地内施設訪問・体験等により、英語を活用する場面を多く設定することで英語の発話の量とコミュニケーション能力の向上を図っております。今年度参加した子供からのアンケートによると積極的に活動できてよかったとの評価が９７％となっております。なお、次年度からは小学生につきましても、ジュニアイングリッシュデイを新たに開催し、より低年齢から子供がネイティブな英語に接し、コミュニケーションを図る体験を積み、英語に対する興味関心を一層高めるよう努めたいと考えております。

１４ページ、4　切れ目のない学びのセーフティーネットの「７　いじめ・不登校などへの適応能力強化」につきましては、（１）心の教室相談員設置事業、（２）教育相談室設置事業、（３）適応指導教室設置事業、（４）スクールソーシャルワーカー設置事業等を実施しておりますが、特に（４）のスクールソーシャルワーカーにつきましては、近年、全国的に家庭の教育力低下等が叫ばれ、貧困や家庭的な問題が、虐待や子供の様々な問題行動等に結び付いている事案が増えていることから、家庭と福祉・警察等とのコーディネーター役として導入したもので、平成３０年度から人員を１名から２名に増やし対応しております。この効果もあり、相談延べ件数は平成２９年度の１２７件から、平成３０年度は３２４件に増え、令和元年度も２８８件となり、これは問題が大きくなる前に対応できるよう心掛けている結果と捉えております。

以上でございます。

■生涯学習課長

生涯学習課でございます。４事業についてご説明いたします。

はじめに、１０ページの「４　キャリア教育市道体制の整備・充実」（１）家庭教育学級運営事業（ホームスクール）についてでございます。

この事業は、家庭教育の重要性を正しく認識し、児童生徒の各発達段階における親の役割を理解するなど、家庭教育機能を高めるために開設しております。

各学校ではＰＴＡと相談しながら進めており、例として、今年度は、三沢小学校では、正しい姿勢で元気な体をつくろう、おおぞら小学校では、睡眠の重要性を目的に生活習慣を見直そう、第一中学校では、高校について知る座談会等が開催されております。

以上のことから、当初の目的が達成されており、今後も引き続き実施して参りたいと考えております。

次に、１９ページの「１０　学校・家庭・地域コミュニティの連携・強化」（２）公民館等運営管理費についてご説明いたします。

これは、心豊かな社会生活の実現に向けて、講演会や各種講座等を実施し、多くの市民に生涯学習の機会を提供しました。また、文化芸術活動の振興、普及を図りつつ、市民芸術に接する機会を提供しております。

事業内容としては、陶芸講座、生け花講座、太極拳講座などのほか、市民文化祭などが開催されております。

今年度参加者が少ない理由としましては、市民文化祭、成人式等が含まれていないためであります。

以上のことから、当初の目的が達成されており、今後も指定管理者と協議しながら進めてまいりたいと考えております。

次に、２２ページの「１２　生涯学習の機会の充実」（１）各種講座等についてご説明いたします。

指導者派遣事業として、そば打ち教室、和紙干支作り教室等が開催されており、平成２８年度からは、親子力ＵＰ事業として、料理教室、発掘体験教室、ＢＢＱ講座等が開催されております。また、昨日２５日には、学校地域コーディネーターとコラボし、親子そばうち体験を開催しました。参加人数は、１３０名と大盛況でございました。

このほか、ここには含まれておりませんが、夏休み、冬休み宿題お助け塾が合わせて１０日間開催されております。

以上のことから、当初の目的が達成されており、今後も新規事業を探求しながら進めてまいりたいと考えております。

次に、２３ページ、「１３　市民による文化活動の振興」（４）公会堂整備事業についてご説明いたします。

公会堂は、昭和５５年建築のため、雨漏りや内外装の経年劣化が顕著となったため、平成２７年度の実施設計から３０年度まで５か年をかけて、トイレ改修、外壁や屋上の防水、照明器具の交換等、大規模改修を実施いたしました。総事業費、８４７，４４９千円、うち補助金は、５７４，６２４千円となっております。

以上のことから、当初の目的が達成されておりますが、今後は施設内の備品等について検討して参りたいと考えております。

簡単ではありますが、生涯学習課からは以上でございます。

■学校給食センター所長

学校給食センターは、２件でございます。１６ページをお開きください。（３）小中学校給食用牛乳保冷庫整備事業につきましては、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により、全小中学校１２校の給食用牛乳保冷庫を更新いたしました。

次に（４）アレルギー対策の推進につきましては、毎年新年度前にアレルギー保有者の調査をして申請書の提出を依頼しているところです。保有者には、アレルギー献立表などの情報を提供することにより、未然の事故防止に努めております。対応のための除去食及び代替食の提供は個別包装の乳・卵が含まれているデザートを実施しております。

以上でございます。

■冨田教育長

以上で主な事業の説明が終りましたが、ただ今の報告に対し、委員からご質問、意見等をいただきたいと思います。量的に多いので、区切ってお聞きします。最初に資料の１ページから９ページまでの大きな項目である1　夢の実現に向け、知・徳・体を育む学校教育のところからお願いします。

■黒沢委員

４ページの（３）学校図書の整備についてお聞きします。充足率が１００％に満たない学校があるとのことですが、その理由と１００％を目指すまでの大まかな計画を教えてください。

■教育総務課長

１００％を満たしていない理由につきましては、毎年度限られた予算の中で図書購入費として割り当てられますが、その予算を案分し各小中学校に配分しているわけですが、１年で充足しない学校は２年、３年をかけて整備していきたいと考えております。

また、予算は毎年度安定的に小中学校合わせて５１０万円ほどの図書購入費が確実に予算措置されておりますので、これからは本の内容の

充実を図っていかなければならないと思っております。例えば歴史が変ったとか、新しい発見があったとかということを順次更新しなければならないと考えております。

■立花委員

５ページのＩＣＴ教育についてですが、国の予算で子供たち１人に１台ずつということがニュースになっていました。当市の現在の計画では、２校のモデル校事業を２年間実施するとのことでしたが、国の予算が確定した場合は、その取り組みに若干の見直しが出てきますか。その辺はどう考えておりますか。

■教育総務課長

現在、モデル的に事業を行い、その後は、２年から３年かけて各学校に３人に１台位の割合で進めていく計画でありました。今回の国の施策により、もっと加速的に整備していくという方針が示され、それに伴い予算措置を確実に行うとのことです。詳しい情報はまだですが、今年度末と来年度の予算で整備を進めていくというようなニュース報道でした。

その内容によりますと、まず、無線ＬＡＮを整備した後、令和５年度までに教育用のパソコンを１人１台整備し、十分に活用できる環境の実現を目指すというもので、実施する自治体に対し財源を確保するという内容でございます。三沢市でも国の採択を受け財政事情が許すのであれば、前倒しで整備でき、良い方向に進むのではないかと考えております。

■教育部長

補足いたしますが、最近、県から、自治体において前倒しで整備できないかという調査が来ておりました。三沢市では防衛の補助を使う予定でしたが、文科省でも補助するとのことですので、前向きに整備すると報告したところです。今後は、財政課と相談して進めていきたいと思います。

■立花委員

機器関係は、大体５年ほどで更新になるかと思いますが、整備した後の更新予算は、三沢市の単独予算になるわけですか。維持していくことも大変であると思います。

■教育総務課長

一般論ではありますが、当初は補助という形で予算が付きます。それ以降、例えば文科省であれば、地方財政措置交付税の中にＩＣＴ教育分として予算をつけているので、その中で更新整備してくださいというようなことになります。ですから、２回、３回と同じような補助を出してくれるかというとそれは国の判断になりますが、より、一歩進んだ施策をするなどの様々な条件が付いてくるかと思います。例をあげますと、当市でも教職員パソコンを購入した時は、最初は購入しましたが、更新する時はリースとして、年度当たりの財政負担を軽減し、同じような効果・成果を得るという取り組みを進めました。

■立花委員

その時の状況によって、更新時はリースになるかもしれないということですね。

■教育総務課長

直接的な、更なる補助があるかもしれませんし、なければ、例えばですが、総額で２億円を一括で負担し購入するのか、またはリースにして５年に分割して支払い、同じような効果を上げるということになると思います。

■本江委員

このようなことを言えば、混乱するかもしれませんが、ある講演会での講師のお話です。パソコンやタブレットで今小説を読むことがで

きますが、画面で見るものは、図書で読むものと違い、画面として捉えてしまうので、全然記憶に残らないそうです。ですから、きちんとした目的や計画をもって教育を進めていかなければ、常に国の予算に振り回されていくという内容のものでした。あくまでも、参考としてお話させていただきました。

■学校教育課長

お話をいただいて、委員のおっしゃるとおりだと思います。ＩＣＴの得意な分野、紙物の書籍の得意な分野があると思っております。例えば特別支援の子供たちが図や絵を画面上で動かすことによって、理解しづらいものが、非常に理解が進んだとか、また、文学書籍などは、やはり紙媒体が良いと思いますので、それぞれの分野の特性に応じて学校で活用していけるようにできれば良いと考えておりました。

以上です。

■冨田教育長

補足いたしますと、昨年度、整備する時も、子供たちを育てていくためには、「何をどのように組み入れていくのか」ということで、学校教育課だけでなく、全体で議論をしております。

概略的に言えば、子供たちの発達段階に合わせて、小学生低学年よりは、高学年で、それよりは中学校で活用するというように、軽重をつけていく部分があります。小学校低学年では、例えば文字を書くとか、理解をするとかという部分ではマイナスになるという意見もありました。調べるとか組み合わせるとかは、タブレットの特性を上手に活用していけるものと思います。

学校教育課長から、特別支援の子供さんのお話がありましたが、例えば、様々な不具合があり学校にいけない子供さんには、非常に効果があると思います。今後も整備や活用について考えていきたいと思います。

以上です。

ＩＣＴ事業については、他にございませんか。

（「なし。」との声あり）

それでは、１０ページから１１ページまでの2　生き抜く力を育む、キャリア教育の推進について意見等ございますか。

■相沢委員

（２）の総合的学習事業ですが、当初からは改善されてきており、内容も充実してきて良いとは思いますが、アンケート結果の「事業の目的を達成するための事業内容であったか」のところが、４点満点の３．５点とか、３．６点とかになっています。ここ数年位は同じ内容で実施していますので、もっと良くするための改善事項があるのではないかと思います。

また、「今後もご協力いただけますか」の回答は１００％で、大変ありがたいと感じていますので、今後、更に良くなるように考えていただければと思います。

■学校教育課長

この事業につきましては、校長会にもご協力いただき、ワーキンググループ会議を開催しております。会議で様々なご意見をいただいており、今後小学校から中学校への接続をどうするか、一般的には、小学校では、職場見学、中学校は職場体験となりますが、その体験場所の提供の協力をいただける企業や職場の確保について考えていかなければならないという意見もいただいておりました。今後もワーキンググループ会議において、意見をいただきながら進めていきたいと考えております。

■冨田教育長

他にございますか。

（「なし。」との声あり）

ないようですので、１２ページから１３ページの3　英語による、コミュニケーション教

育の充実についてございますか。
（「なし。」との声あり）
それでは、次の１４ページから１７ページの4　切れ目のない学びのセーフティーネットの充実についてございますか。
（「なし。」との声あり）
次に進めますが、１８ページから２０ページまでの5　学校・家庭・地域発、コニュニティー組織の構築のところでございますか。
（「なし。」との声あり）
続いて、２１ページの5　まもる・伝える・育む、ふるさと文化の保存・活用のところでございますか。

■立花委員
すみません。一つ戻り、２０ページの団体活動センター管理事業についてお聞きします。見直しになっていますが、具体的には現実的に耐震問題等について対処していくのかまたは段々と縮小していくのかについてどうでしょうか。

■生涯学習課長
現在６施設ありますが、根井と谷地頭は既に廃止の予定になっております。また、現在使われております４施設につきましては、直しながら使用していく予定でございます。
以上です。

■立花委員
根井も廃止ということですが、現在も使われている施設ではないかと思います。特に問題や苦情がないのですか。

■生涯学習課長
現在、使用している方には、既に廃止の方向であるという説明をしておりまして、了承を得ております。今後は廃止の時期等について使用者と相談しながら進めていきたいと考えております。

■立花委員
使われなくなった施設を壊して、更地にするとかを考えていかないと、そのままでは、誰もいないところになるので、危険であるし、いたずらするなど色々な事態が考えられると思います。予算がかかることですが、今後の見通しはどうでしょうか。

■教育部長
今は、団体活動センターとなっており掲載されていますが、財政課で進めている公共施設管理計画の中の個別計画では、２施設において、建築年数の問題だと思いますが、危険であるため貸出できないという理由により廃止になりました。その利活用については、まだ進んでいなく、財政課からもまだ示されているものがございません。

■黒沢委員
関連してですが、団体活動センターなどのグランドは、地域住民の避難場所になっております。谷地頭は、北部の半分が第１次避難所になっており、建物の裏の細道などを通り、避難所へ行くことになります。建物が危険であるならば、安全な避難に関しても配慮いただき、地域の方々とも相談していただきたいと思います。これは、お願いでございます。

■生涯学習課長
防災管理課へ今の旨を伝えまして、相談していきたいと考えております。

■冨田教育長
他にございますか。
（「なし。」との声あり）
それでは、次の２２ページから２３ページまでの7　創造性に富み、地域発信ができる文

化活動のところでございますか。

（「なし。」との声あり）

それでは、次の２４ページから２５ページまでの8　元気・感動を生み出す、健やかなスポーツ活動のところでございますか。

こちらは、市民スポーツ課の事業ですが、教育振興基本計画の中に、含まなければならない事業となっているため、資料を作成してもらったものです。

（「なし。」との声あり）

最後にですが、全体をとおしてご意見等ございませんか。

（「なし。」との声あり）

それでは、ないようですので、報告第１２号三沢市教育振興基本計画（平成２７年度から令和元年度）の進捗状況についての報告は、終わりといたします。

○日程第６　その他

■冨田教育長

続いて、その他に移ります。

委員にお知らせする事項をお手元に配付しておりますので、ご説明願います。

■生涯学習課長

生涯学習課からは「令和２年三沢市成人式」及び「第４５回三沢市民俗芸能公演会」のお知らせでございます。

はじめに「令和２年三沢市成人式」でございます。既に委員の皆様からも出席の回答をいただいておりますが、１月１２日、日曜日１２時２０分の開始となっております。次第等につきましては、記載の通りでございますが、新規企画は、「はたちのあなたへ」と題しまして、保護者と先輩からのメッセージをいただくことにしております。

司会は、三沢高校放送部、また、受付等のお手伝いを高校生ボランティアが務めることとしております。式典終了後は「はたちの集い」として、ごぼう味噌やほっき味噌を使用した一口おにぎり、ごぼうそば、なべっこだんご等を用意し新成人の交流会の場を設けます。

新成人は、男子２３１人、女子１９７人の４２８人となっております。

なお、日にちは未定ですが年明けからは、成人式のお知らせをマックテレビで流すこととしております。

次に、「第４５回三沢市民俗芸能公演会」のお知らせでございます。成人式の翌日、１月１３日月曜日、１０時からの開演で、１０団体の出演予定となっております。

以上でございます。

■冨田教育長

他に各課から報告する事項は、ありませんか。それでは、ただ今の報告事項に対しまして、委員からご質問・確認等はございますか。

（「なし。」との声あり）

ないようですので、その他については終わりといたします。

最後に、委員の皆様から教育委員会事業等において、確認したいことや意見・感想等を順番にお願いします。

■本江委員

子供たちも、冬休みに入りましたが、２学期は小学校、中学校ともに文化祭や音楽交歓会の文化面に活躍した学期でした。また、新人戦なども非常に活躍が目立っておりました。このように成果をあげられたのも、教育委員会の力もありますが、学校の先生たちの努力と地域の方々の応援などの大きな役割を果たした結果だと思います。

学力向上についても非常に素晴らしいと思って説明を聞いていました。指導主事の方々の学校訪問数が増えているということは、学校も

そのような研修会を多く設けているということで、学力向上面に関しての努力は素晴らしいものがあります。ますます、続けていってほしいと思います。

生徒指導面においても、大きな問題の報告がなく、これもまた多方面からの援助とか、三沢市の場合は生徒指導に関する支援団体が多いので、それを上手に活用していることだと思います。しかし、１番は学校の先生方の努力とそれを応援してくれる指導主事の方々のおかげだと思い非常に感心しました。

多少不登校や怠惰状況などが懸念されますが、非常に良い２学期を終えることができたのは、皆さんのおかげだと思っております。

ありがとうございました。

■黒沢委員

夢の実現の計画に向かって、今まで実施してきたことを丁寧に説明していただき、皆さんのおかげで子供たちもそして大人たちも教育という機会を与えられていることに感謝の気持ちが、膨れて参りました。

私は、どうしても子供を中心に見がちになりますが、ある程度歳を重ねてきた方々も学ぶ機会がある三沢市は、きっと子供たちも輝いているだろうし、高齢の方々もまだまだ楽しめる街であるならば、未来は明るいなと思うことができました。

子供の姿ももちろん感じながら、そして生きている限り、何かを学びたいという気持ちを持ち続けられる三沢市であっていただきたいと思うことができました。

ありがとうございました。

■相沢委員

今年１年を振り返ってみて感じたことです。先生方の働き方改革ということで、その話題がかなり出ていたと思います。その説明を聞くのと同時に色々なことが細かく決められていて、そのために色々な業務が煩雑になるというか、ボリュームが大きくなっているとイメージしていて、やっていることが逆行していないだろうかと疑問を抱くこともありました。

最近では、これは家庭のことですが、親の体罰ということをテレビでやっていました。具体的な例があれこれ挙がっていて、虐待というのは確かに家庭で色々な問題があると聞きますが、親の体罰の具体例を挙げることは、なかなか難しいと感じます。

学校でも先生の体罰ということで、具体例を挙げると、それに対してまたチェックするために資料や報告書が必要になっていて、細かく決めれば決めるほど、業務が煩雑になる傾向にあり、働き方改革と擦り合わせてやっていくのは難しいと感じています。規則や規定に縛られすぎることなく、本当に大事なことを見極め、全体を見て良い方向に関係を進めていただきたいと思います。おおざっぱな感想ですが、そのようなことを感じました。

■立花委員

今年度は、３月まではまだありますので、教育委員会の皆さんには体調面に十分気を付けていただきたいと思います。

インフルエンザのことですが、上十三地区が警報になった様です。新聞を見ますと学級閉鎖に関しては最初の頃、１校か２校ありましたけれど、その後はないようです。たぶん学校でも指導をしていると思いますが、これから中学生が受験シーズンを迎え大事な時期になりますので、冬休み明けについては、十分注意するよう注意喚起していただきたいと思います。

■冨田教育長

ありがとうございました。

インフルエンザについて、何か情報がありますか。

■学務課長

委員がおっしゃるとおり、インフルエンザに関して上北管内は、警報が発令されました。校長会等で学校の現状に関して報告を受けており、学校でも様々な対応をしております。学務課でもインフルエンザの人数を把握しておりまして、毎日学校から罹患率等の情報が入ってきますので、情報共有しながら対応していきたいと考えております。

○日程第７　閉会

■冨田教育長

ありがとうございました。

その他、ございますか。

（「なし。」との声あり）

以上で、日程は全て終了いたしましたので、１２月定例教育委員会を閉会いたします。

来年、１月定例会の日程についてですが、１月２３日　木曜日　午前１０時に開催したいと考えております。

いかがでしょうか。

（「異議なし。」との声あり）

それでは、１月定例会は、１月２３日　木曜日　午前１０時からといたしますので、よろしく願いします。

閉会　　１１時１０分

■会議録署名者

教育委員　　立　花　　肇

教育委員　　相　沢　靖　恵

書　　記　　今　村　多美代